

建設産業委員会

■今定例会の審査結果

今定例会では勝山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)など議案9件および陳情1件について担当課より詳細な説明と意見を求め慎重に審査しました。

審査の結果、議案9件は可決とし陳情1件については不採択としました。

勝山浄化センター運転維持管理業務包括委託について

勝山浄化センターの運転維持管理業務は市職員による維持管理から、平成21年度より、職員の削減や民間事業者の創意工夫による経費削減の効果を図るため民間委託されています。今定例会では平成26年度から30年度までの5年間の委託契約の締結について議案が出されました。5年間の請負金額は7億146万円、これまでの5年間に比べ約8千万円増となっております。

これは人件費や消費税増額が要因との説明でしたが、委員会では適切に業務が遂行されているか、経費削減に努めているか、31年以降について検証していく必要があるとの意見が出されました。

第3期都市再生整備計画事業(案)について

これまで都市再生整備計画事業

(旧まちづくり交付金事業)では、平成15年より第1期・第2期と賑わいのある中心市街地の創出を図るため、ゆめおーれ勝山周辺整備、本町通り等の整備や消雪装置、勝山駅前広場等の整備等の事業を進めてきております。今回、平成26年度より第3期事業として、中央公園・市民活動センター跡地・元祿線歩道等の整備を進めたいとの説明がありました。委員会では、事業エリア外についても他事業により整備を行うことなどの意見が出され、今後協議をすすめていくこととしました。

視察報告

当委員会では、10月に「特産品の販路開拓」「道の駅運営」訪問者をもてなす、まち旅」などを調査するため、佐賀県・福岡県方面へ行政視察を行いました。

○自治体運営型の通販サイトの開設

佐賀県武雄市は平成23年11月から、市直営の特産品通販サイト「F B良品 TAKEO」をフェイスブック上で開設。地域の良いものを掘り起こし全国に向けて発信し、地域所得の向上や特産品の販路を開拓している。現在、この通販サービスに参加している自治体は16にも上る。今年の9月からは海外への事業拡大も視野に入れ、サービスの名称を「JAPAN%」に変更している。初期投資・運営費用は各自自治体が負担するため、製造・販売業者は出品料を払う必要

議案撤回について

今定例会では、平成26年4月1日から消費税が8%に引き上げられることに伴う「勝山市営温水プール」の利用料金と「勝山温泉センター「水芭蕉」の基本使用料の値上げのための条例の一部改正の議案が、それぞれ提出されました。どちらの条例も基本使用料等の上限額を定め、回数券など割引についての定めは削除されていました。

そのため常任委員会では、「回数券の定めが無くなることにより利用者のデメリットが生じる可能性がある」「入湯税の計算根拠がなくなる」「割引部分の消費税分を、他の料金で補うのは消費税の平等性がなくなる」などの意見が出され再精査されることになりました。

その結果、上程された議案は撤回され、新たに回数券の定めも含めた条例の一部改正案が改めて上程され可決されました。

○道の駅運営について

福岡県うきは市の「道の駅うきは」は市が取り組む「グリーンツーリズム事業」の核となる施設で、管理・運営は第三セクター「うきはの里(株)」が行っており、物産館では農産物を直売し、インフォメーション館では観光協会により観光情報の提供を行う情報発信基地となっている。その他、食彩館・展望デッキ・駐車場・トイレ休憩設備がある。年間売上額は約7億円。福岡市から近いため、1日4千人の来訪者がある。元々「フルーツの里」として知られており、現在では宅配も年間2万件あるとのこと。出荷農家は高齢者が多い

ため、高齢者でも気軽に使用できる機械の導入や2カ月に1回は勉強会を開催し、品質向上に取り組んでいる。また驚いたことに、運営主体の「うきはの里(株)」は毎年市へ寄附をしているとのことでした。

